

平成 22 年 11 月 30 日

UNAI のキックオフと教育・研究における世界の動き

背景

国連ミレニアム・サミットと MDGs

2000 年 9 月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した 147 の国家元首を含む 189 の加盟国代表は 21 世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択。この宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッドガバナンス（良い統治）、アフリカの特別なニーズなどを課題として掲げ、21 世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示している。また、この宣言と 1990 年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標（Millennium Development Goals: MDGs）とされる。

MDGs は、2015 年までに達成すべき 8 つの目標。それらは、極度の貧困及び飢餓の撲滅、普遍的初等教育の達成、男女平等及び女性の地位強化の推進、乳幼児死亡率の削減、環境の持続可能性確保、開発のためのグローバルなパートナーシップの推進。また、その達成するために 18 のターゲットを設定。それらは 1 日 1 ドル未満で生活するいわゆる BOP の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる、あるいは、全ての子供が男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする等（参考資料）。

MDGs達成への努力

これまでの国連、そして日本政府を含め各国政府、諸機関はさまざまな努力

1. 国連は MDGs を国連のミッションの中心におき、MDGsサミットを開催
国連本部で 9 月 20 日に開催。各国の首脳約 140 名が参加、菅、オバマも出席し、2015 年の達成期限を控え、とりわけ遅れが目立つ保健と教育の分野で議論。
2. 日本政府:MDGs を日本外交の目的として設定(2010 年 6 月)
3. 企業:UNGC(国連グローバル・コンパクト)に現在、世界で 3,000 の企業が参加(当初より、途上国開発の中で①企業と協力し、安価で、必要不可欠な薬品を入手できるようにする、②情報、通信といった新技術による利益が得られるようにするが当初よりうたわれていた)。

4. バン現事務総長によるアカデミックコミュニティへの働きかけ

現事務総長は、高等教育機関に対し、国連は常に新しいパートナーにオープンであるべきとし、この動きに参加することを要望(2008年、9月)。また、高等教育機関は世界的な問題に取り組む原動力として教育を活用することをコミット(国連の新しいパートナーのリストのトップにアカデミックコミュニティがある。高等教育機関とより強い関係を結び、アカデミックな人々の意見や学識を借りることを望んでいる)とした。

UNAI(国連アカデミック・インパクト)とは

- ・UNAI は国連広報局アウトリーチ・ディビジョン(渉外部)のプログラム
- ・このプログラムは、国連の目指す MDGsをもとに、世界の高等教育機関の連携や国連との連携をうながす。
- ・UNAI は、以下の 10 の基本的原則にコミットすることでなりたつ、無償。結果を国連に年に一度報告(後述)。

・コミットメント

1. 国連憲章の根本的原則にコミットメント(誓約)
2. 人権へのコミット、人権メント
3. 人種、ジェンダー、宗教、民族に関わらず全てのものが教育の機会を設ける
4. 関心を持つ全てのものが高等教育をうける機会
5. 高等教育機関の機能拡大
6. グローバルシチズンシップに取り組む教育へのコミットメント
7. 平和と紛争解決に取り組む教育へのコミットメント
8. 貧困に取り組む教育へのコミットメント
9. サステナビリティを促進する教育へのコミットメント
10. 文化間の対話と相互理解を促進する教育へのコミットメント

UNAI への参加高等教育機関の義務

各自の期間内で UNAI の原則を反映するようなプログラムと方針。

1. 毎年、AI の基本原則のうち少なくとも1つの分野に積極的に取り組むこと。活動例としては、研究プロジェクト・論文・会議主催、国連の活動に学生が参加できるような資金援助、キャンパス内での活動。
2. 以上の活動の詳細を機関内外に様々な手段で啓発・啓蒙のこと。

3. 義務ではないが、国連・国際諸機関・高等教育機関・諸団体との連携を強め以上を行うこと。

UNAI(アカデミック・インパクト)パートナーとは

UNAIの原則を承認し、国連と共にこれを支援する団体(世界学長会議、他。日本産学フォーラムも)

UNAIにコミットメントした高等教育機関のメリット

世界のフラット化でアカデミシアン・機関の重要性は飛躍的に増大しているが、このコミットメントで更に、

1. 相互連携による新たな人財づくり: グローバルシチズンシップ。つまり、国連憲章を誓約するミレニア世代の育成・・・彼らは国境を超え平和を守り、社会進歩を推進し、世界問題に対決する。また、彼らは、未来は良くなり、世界は変化しなければならず、科学と技術への強いコミットメント
2. 大学のアイデンティティの確立: CSR に対してUSRの確立: マルチステークス時代の高等教育機関の機能拡大・・・単なる知識育成・研究を行う象牙の塔ではなく、世界が直面する問題を教え、それらを研究し、新たなミレニア世代へのよりよい教育方法

11月18日、19日の国連本部で行われたUNAIのキックオフについて

これまでUNAIの準備はUNAIパートナーを通じて行われてきた。日本でも、8月にバン事務総長来日の時に、それまで参加を登録している5大学の学長・副学長と日本産学フォーラムも含め話し合いを行ってきたが、11月18日、19日にNYの国連本部で正式のキックオフが開かれた。日本からも7大学の関係者と日本産学フォーラムから参加。二日間の会合は国連本部のノース・ローンビルディングの第二会議室で行われ、世界から約300名の関係者参加の元、赤坂次長の司会でバン事務総長の宣言で始まった(プログラム・宣言文添付)。二日目の夜には国連の総会場で中国代表部主催によるコンサートも開かれた。また、19日にはグローバルコンパクト(UNGC)の委員会も同ビルディングで開催中。出席中の有馬日本代表(富士ゼロックス会長)とも意見交換。また、日本からの出席者へは児玉国連次席大使が公邸で昼食会を主

催。また、国連・国際機関・民間企業・学術団体・政府・NGO、などとの連携を促進する。

UNAI の今後の運動方針

これまで国連のアウトリーチ関係者と打ち合わせをし、今回のキックオフで確認されたことは、

1. MDGsの推進機関(国連、国連ファミリー、国際機関、各国政府)、そして、連携強化(単に学術団体間だけでなく UNGC 等の同じ目的を持つものとの連携)
2. UNAI 間内の連携強化(テーマ別にリストの整備、並びにネットの構築。推進に当たってはハブ大学を設置)
3. それぞれの活動について啓発活動(国際セミナー、シンポジウム)
4. 国連、政府諸機関、諸学術団体(UNAI パートナー等を含む)が主になり UNAI の支援体制(その中には学際的研究者を定着させるシステム)・フェイルド・アカデミシアン(非伝統型の学者)

日本における進め方、国際的な働きかけ

これまで、日本産学フォーラムは国連のアウトリーチと連携し積極的に UNAI の立ち上げを支援してきた(国内外で)。これは、このプロジェクトが日本が世界(国連等と連携し)に再び知のランドマークを示す一つであり、また、それがガラパゴス化が進む日本社会、企業の国際化をはかる材料として位置づけたことにある。ただ、残念ながら、日本国内の動きは、他に比べて低迷(11月当初に上海で中国政府主催の UNAI フォーラムが開催され、次いで EU、韓国で来年にかけ、UNAI フォーラムを開催する(彼らは、これらの機会を利用し、一層の国際化をはかっている)。また、UNAI にコミットメントした大学は現在世界で 500 大学。うち、日本は 7 大学(産学フォーラムのメンバー4 大学)、一方、中国、インド、韓国は短期間にそれぞれ数 10 大学へ(資料添付)。

今後の日本内外の推進の仕方を考える必要がある。

武田(ファウンディングディレクター)は、UNAI の推進に当たっては、国連・国際機関・民間企業・学術団体・政府・NGO、などとの連携を促進する。また、国連・国際機関・民間企業・学術団体・政府・NGO、などとの連携を促進する。

参考資料1.

世界はフラット化の中の日本の低迷

先般の怨志塾の講師、コマツの萩原相談役のレジメ(資料)で示されるように、世界における日本の存在感が急激に低下。但し、新興衰退国は日本だけでなく、EU、さらには米国でも顕著(フリードマンのNYタイムスのオプエッド添付)

参考資料2：ミレニアム開発目標 (MDGs)

出典元：外務省

ミレニアム開発目標(MDGs)とは

2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッドガバナンス(良い統治)、アフリカの特別なニーズなどを課題として掲げ、21世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。そして、この国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)です。

MDGsは、2015年までに達成すべき目標として8つを掲げています。

目標とターゲット	指標
目標1：極度の貧困及び飢餓の撲滅	
ターゲット1 2015年までに1日1ドル未満で生活する人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。	1. 1日1ドル未満で生活する人口の割合 2. 貧困格差の比率：貧困度別の発生頻度 3. 国内消費全体のうち、最も貧しい5分の1の人口が占める割合